



No.3501

第3819回例会
令和6年3月6日

OBIHIRO ROTARY CLUB DISTRICT 2500

会長 工藤大輔

方針「Merry Rotary!」-ロータリーで盛り上がるう!-

2023-24年度国際ロータリーのテーマ 世界に希望を生み出そう

■会長報告



みなさん、こんにちは。ロータリーの特別月間、3月は「水と衛生月間」です。2014年10月RI理事会は、地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善とそれらを持続するためのさまざまな支援や、「水と衛生」に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間としました。

きれいな水を利用できることは基本的な人権です

・世界には、適切な衛生設備が利用できない人が25億人
・安全な飲み水が得られない人が7億4800万人
・毎日1400人の子どもが、汚染された環境と不衛生な水を原因とする病気で命を落とします



意識、教育、持続可能性の欠如

ロータリーはこれまで何十年にもわたり、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台やトイレを設置するなどして、人びとが安全な水を利用できるよう支援してきました。

しかし最大の課題は、このような設備が整えられた後にあります。それは、はじめにプロジェクトが成功してもゆくゆくは失敗に終わるケースが頻繁にあるからです。

設備当初は喜ばれても、地元住民の当事者意識、教育、持続可能性が欠けていたり、また多くの場合、地域社会が自立して長期的にプロジェクトを管理するのに十分な支援がありませんでした。

私たちは地域社会とそのリーダーや専門団体と密着して活動する必要があります。さらに重要なのは、地域社会のニーズを理解することです。地域社会に何が必要なのかを憶測で判断してはなりません。

現在、他国で実施するプロジェクトでは、補助金を申請するクラブに対し、プロジェクトの計画に地元住民が関わったことを証明することを義務づけています。いずれ地域社会の人びとが自力で継続していなければならない、そのプロジェクトは成功したとは言えないからです。



WASHプログラム

財団からの補助金やロータリークラブの募金活動で得た資金を元に、ロータリー会員が浄水、衛生教育、仮設トイレの建設、廃棄物管理を支援

ロータリー財団は2013年から、世界各地で数多くの「WASHプロジェクト」に投資しています。財団からの補助金や募金活動で得た資金を元に、ロータリアンが浄水、衛生教育、仮設トイレの建設、廃棄物管理を支援しています。しかしながら衛生施設の設置だけでは、「WASHプロジェクト」の長期的な成功は望めません。健康的な習慣を定着させることも重要です。適切な衛生習慣によって、コレラ、赤痢、肺炎などの病気を50%近く減らすことができます。石鹸を使った手洗いだけで命を救うことができるのです。

ここで改めてご紹介するのが、帯広RCが共同申請で行ったのが、2022年竣工の「マレーシアグリーンウォータープロジェクト」です。

帯広からマレーシアのクアラルンプールまで約6,200km、そこからさらに奥地へ入ったテメルローの先住民オランアスリの住む村に水道を引く事業です。

2022年9月24日、完成セレモニーに小沢当時国際奉仕委員長と榎安会員、飛岡会員が参加されています。ここで重要なのは、申請クラブ以外に現地のテメルロー RCと周辺クラブが協力していることです。初期投資したままでは終わらないよう、地元のクラブや地域住民が関わることで持続可能な仕組みとなります。



マレーシアの奥地「テメルロー」には約6,200km、そこからさらに奥地へ入ったテメルローの先住民オランアスリの住む村に水道を引く事業です。2022年9月24日撮影

きれいな水を利用できることは基本的な人権です。しかし世界には、適切な衛生設備が利用できない人が25億人、安全な飲み水が得られない人が7億4800万人おり、さらに劣悪な衛生環境と不衛生な水を原因とする病気で毎日1400人の子どもが命を落とします。

ロータリーはこれまで何十年にもわたり、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台やトイレを設置するなどして、人びとが安全な水を利用できるよう支援してきました。

しかし最大の課題は、このような設備が整えられた後にあります。それは、はじめにプロジェクトが成功してもゆくゆくは失敗に終わるケースが頻繁にあるからです。

設備当初は喜ばれても、地元住民の当事者意識、教育、持続可能性が欠けていたり、また多くの場合、地域社会が自立して長期的にプロジェクトを管理するのに十分な支援がありませんでした。

私たちは地域社会とそのリーダーや専門団体と密着して活動する必要があります。さらに重要なのは、地域社会のニーズを理解することです。地域社会に何が必要なのかを憶測で判断してはなりません。

現在、他国で実施するプロジェクトでは、補助金を申請するクラブに対し、プロジェクトの計画に地元住民が関わったことを証明することを義務づけています。いずれ地域社会の人びとが自力で継続していなければならない、そのプロジェクトは成功したとは言えないからです。

ロータリー財団は2013年から、世界各地で数多くの「WASHプロジェクト」に投資しています。財団からの補助金や募金活動で得た資金を元に、ロータリアンが浄水、衛生教育、仮設トイレの建設、廃棄物管理を支援しています。しかしながら衛生施設の設置だけでは、「WASHプロジェクト」の長期的な成功は望めません。健康的な習慣を定着させることも重要です。適切な衛生習慣によって、コレラ、赤痢、肺炎などの病気を50%近く減らすことができます。石鹸を使った手洗いだけで命を救うことができるのです。

ここで改めてご紹介するのが、帯広RCが共同申請で行ったのが、2022年竣工の「マレーシアグリーンウォータープロジェクト」です。

帯広からマレーシアのクアラルンプールまで約6,200km、そこからさらに奥地へ入ったテメルローの先住民オランアスリの住む村に水道を引く事業です。

2022年9月24日、完成セレモニーに小沢当時国際奉仕委員長と榎安会員、飛岡会員が参加されています。ここで重要なのは、申請クラブ以外に現地のテメルロー RCと周辺クラブが協力していることです。初期投資したままでは終わらないよう、地元のクラブや地域住民が関わることで持続可能な仕組みとなります。

詳細は、第3779回例会会報を今一度ご覧ください。

干上がった川の底にかすかに残る水を集める人々の姿、タンクに入れた水を20キロもの距離を運ぶ子

供たち。2022年8月、ほんの一年半前のマダガスカル現状です。

1905年2月23日にシカゴロータリークラブが発足し、シカゴに最初の公衆トイレを作ったロータリーは親睦と相互扶助の集まりから、利他の精神「奉仕」へと活動を広げました。まさに「水と衛生」はロータリーの奉仕の原点とも言えます。

以上、会長報告とさせていただきます。本日もよろしくお願ひいたします。

■ビジター紹介 RI第2500地区米山記念奨学生 クルルオン、シーリン 様

■プログラム (プログラム委員会)

「AI時代を僕らはどう生きればいいのか?」 佐藤 真康 委員長



今から30年ほど前の話ですが、帯広ロータリークラブの伝説的なロータリアンであった鈴木樹さんから僕に電話がかかってきました。当時は、まだロータリークラブに入っていませんでした。ただ、仕事等の関係で樹さんとは会う機会が多かったので知っていました。電話の内容はなにかというと、帯広ロータリークラブで卓話をお願いしたいということでした。で、どんなテーマで話せばいいですか?と聞いたら、「インターネットについて話してもらいたい。何のことも僕らは全然わからないので頼む!」ということでした。

それで、数ヶ月後、帯広ロータリークラブの会員の皆さんにインターネットの話をしたわけですが、その時何を言ったかというところから「これからはインターネットを活用できない会社は、生き残ることが難しくなるかもしれない」という話をさせてもらいました。1995年前後の話ですから、まだインターネットも一般的ではなかった、みなさんピンときていないようでした。僕に見える未来と会員の皆さんには大きな開きがあったのです。

なぜ、この話を冒頭にしたいかというと、今日の卓話の時間がとても短いので結論を先に言いたかったからです。ハッキリいいます。「これからはAIを使えないビジネスマン、AIを活用できない企業は生き残ることはできません」。断言します。AIを知らない人はかなりヤバイです。

僕は、間もなく、社会人として仕事を始めて半世紀を迎えます。その間、いろいろすごいテクノロジーに出会ってきました。例えば、1993年、シリコンバレーにあるサンノゼマーカーキュリーという新聞社で、インターネットでコンテンツを配信したのを直接見たときは、トリハダが立ちました。ほんとに感動しました。だけど、今回のAIに関するテクノロジーは、それを上回る衝撃です。っていうか、僕の仕事人生で、これほどスゴいと思ったテクノロジーはありません。とんでもないレベルだと思います。

AIの歴史は結構あって、70年ほどあります。だけど、ここへ来て、AIテクノロジーの進化は、また別のフェーズに入っています。決して「[比喩]でも」「近未来の空想」でも「可能性の話」でもなく、人間の世界—仕事、働き方から組織、社会の成り立ちを文字通り「変える」ものとしてAIが立ち現れているのです。

そのAIとは、ジェネレーティブAI、生成AIと呼ばれているものです。「ジェネレーティブ(generative)」とは「生成力がある」という意味です。つまり人間からのオーダーを受けて「テキスト」を生成する。「画像」を生成する。「動画」を生成する。「音楽」を生成する。それが、今まさに人間の仕事から生活に関わるあらゆる領域において、ゲームチェンジャーとなりつつある「ジェネレーティブAI」の機能です。

そして、その代表的なものが、みなさんもやっていると思いますが、ChatGPTです。テキスト生成AIの代表格であるGPTは、大量のテキストデータ(LLM=大規模言語モデル)で「学習」されたAIです。このChatGPTのような生成AIは、大きく2つの特徴があります。1つは「歴史上新に見る広さと速さで浸透していること、もう1つは「自力で絶え間なく変化するように設計」されているということです。

ChatGPTは2022年の11月30日に登場しました。そして2ヵ月後の2023年の1月の末には、1億ユーザーを獲得したのです。インスタグラムがこの水準に達するまでには2年半、フェイスブックは4年半を要しました。例えば、半分の5000万人を獲得するデータがあるんですが、飛行機が68年、車が62年、テレビが22年、コンピュータが14年、インターネットが7年、そしていまをときめくスマートフォンでも3年かかっています。いかに生成AIがスピーディに浸透したかがわかります。

それと、生成AIは、自力で絶え間なく変化するように設計されています。私たちが使い慣れているほぼすべてのデジタルテクノロジーと異なり、AIを搭載したツールは自力で——かつ絶え間なく——変化するように設計されているのです。文章やコンピュータコードを生成するための新たなデータを与えられるたび、自ら学習し、能力を成長させていきます。

ですから、わずか2年前の私が、現在にワープしてきたとしたら、ネット記事やSNS、新聞の見出しなどを見て、びっくりすると思います。

1つの例として、ソフトウェア開発における生成AIを考えてみます。ある人がこんな話をしています。「ChatGPT以前のソフトウェア開発は石器時代だった」と。1年半前の状況が石器時代だったですよ。Microsoft社やMITと共同で行った研究では、生成AIの活用でプログラミングの生産性が2倍以上になっています。5倍、10倍という数字でも納得できるレベルであるという人もいます。開発者を100人、1000人と雇っている企業であれば、全体としての恩恵はすさまじいものになるでしょう。

そうやって考えてみると、ある言葉ができてきます。それはAIは人間の仕事を奪うのか？という疑問です。とくに欧米ではひとつの問題とされています。日本でもそのような疑問はできてはいますが、欧米ほどではありません。その理由は、2つあって、1つは、いろいろな職場で人手不足な状況が続いていることです。とにかく毎年70万人の労働力人口が日本では減っていますので、しかたないのかもしれない。

2つめとしては、これは日本独特なものだと思うのですが、「鉄腕アトム」です。鉄腕アトムは正義のミカタなわけですから、AIを搭載したロボットに、日本人はそれほど違和感を感じません。これが、米国ならターミネーターになっちゃうわけですね。エヴァンゲリオンのようなアニメは、日本にしか作れないというも、鉄腕アトムがあってこそなのかもしれない。

ただ、実体としては、いろいろ動きが出てきています。例えば、IBM社は一部職種の業務が生成AIによって代替できるとし、採用を凍結。雇用削減を行うことも示唆しています。中国では、画像生成AIの活用により、イラストレーターへの報酬が10分の1になったという事態が報告されています。ハリウッドでは、脚本をAIにつくらせる動きに反発し、映画脚本家がストライキを起しています。

だけど、このような新しいテクノロジーが出てきたときには、今に限らず抵抗はできます。古くは、ラッドライト運動がありましたし、わりと新しい研究でも、例えば、人工知能の研究に携わる英オックスフォード大学のマイケル・オズボーンらは、2013年の論文で、今後10～20年で、アメリカの総雇用者の約47%の仕事が機械によって自動化されるリスクが高いと結論づけています。

では、AIに影響される業種とはどのようなものなのでしょうか。「特別なスキルを必要としない賃金が低い仕事であるほど、コンピュータ/AIによる自動化の影響を受ける可能性が高い」これは、コンピュータ/AIが労働に与える影響を分析する研究で、長らく共有されてきた主張です。どちらかというとブルーカラー的な仕事の影響をうけるといわれてきたのです。

ところが、生成AIの登場で、劇的に変わってきました。モラベックの「パラドクス」というのがあります。その主張は、「AIにとっては、人間がよく考えて行う高度な作業は簡単だが、人間が特に何も考えず簡単にこなしていることは難しい」というものです。つまり、ちょっと高度な知識を必要とするホワイトカラーの方が影響を受けるというように変わったのです。

ここで、あるデータを紹介します。これは、2015年に野村総研とオックスフォード大学の共同研究で、日本の難関とされるサムライ業の多くがAIに代替されかねないというものです。例えば、公認会計士は約86%がAIで置き換えられると出ています。で、この数字を見て、皆さんはどう思うでしょうか？公認会計士はヤバイと思いますか？

僕は、全く違うことを感じています。もしある公認会計士が、バリバリAIを使いこなしているとしたら、その人は、いままで仮に100時間かかる業務があったら、14時間働くだけで同じパフォーマンスをだせるということです。この視点は重要だと思います。つまり、AIが仕事奪うのではないんです。「AIではなく、AIに精通した人が、精通していない人から仕事を奪う」のです。

こうして考えてみると、今後僕らはどうしたらいいかということ、AIにはできないことをやるのが重要になってきます。どれほどAIが進化したとしても、すべての領域に関して「人間を超える」とことはないと思います。なぜなら、どこまでいっても「人間にしかできないこと」「人間にしかできないものは必ず残るに違いないから」です。この人間にしかできないことが、とても重要になっていきます。

ですから、生成AIにあまり触れていない方は、ぜひ今日から活用す

るようにしてください。ChatGPTをやっている人は、日本では15%ほどです。真剣に活用している人は、1割程度しかいません。会社で活用しているのは、帝国データバンクの調査ですが、7%しかいません。米国では既に50%を超えています。とにかく生成AIは驚異的に進化していますので、今からでも遅くはありません。ぜひ活用し、人間にしかできないことはなんなのか？を考えていただければと思います。

今日は、ありがとうございます。

■会務報告

猿川 陽介 幹事

- ①帯広RC、次年度第2回定例理事会開催のご案内
日時 3月6日(水)午後1時30分 場所 ホテルノースランド帯広
- ②帯広RC、創立記念夜間例会開催のご案内
日時 3月13日(水)午後6時30分 場所 ホテル日航ノースランド帯広
二次会 シャレード(会費:5,000円)
※アルコールがおすすめです、飲まれる方は運転をお控えください。
- ③帯広RAC、「世界ローターアクトデー」のご案内
日時 3月15日(金)午後7時 場所 GiGOBOWLドリームタウン白樺店
※詳細は、青少年育成委員会まで
- ④帯広北RC、3月15日(金)の例会は、休会と致します。
帯広南RC、3月18日(月)の例会は、休会と致します。
帯広RC、3月20日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。
- ⑤RI第2500地区第6分区分会都市連合会(IM)開催のご案内
日時 3月30日(土)
12:00～12:30 帯広RC例会セレモニー
12:30～13:00 登録受付
13:00～13:40 開会式
13:40～15:10 講演:クラブ発表Part1
15:20～16:50 講演:クラブ発表Part2
17:00～17:20 閉会式
17:40～19:10 懇親会
場所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、帯広南RC、3月25日(月)の繰下げ例会と致します。
帯広東RC、3月26日(火)の繰下げ例会と致します。
帯広RC、3月27日(水)の繰下げ例会と致します。
帯広西RC、3月28日(木)の繰下げ例会と致します。
帯広北RC、3月29日(金)の繰下げ例会と致します。

【委員会報告】

【ニコニコ献金】

(親睦活動委員)

<石山 直貴 会員>

先週に引き続きシーリンさん参加させていただきます。よろしくお願ひいたします。

<玉木 健 会員>

札幌へ異動が決まり、本日が最後の例会出席となります。本当にお世話になりました。



【3月生誕日祝】

3月生まれの皆様、誕生日おめでとうございます。3月は、年度末であり、学年末でもあり大変忙しい月です。諸外国を見ると年度末と学年末が同じ月の国は皆無です。世界では12月を年度末にしている国が多く、日本もかつて田中角栄氏が首相の時に年度末を12月変えようとした事がありましたが、当時の大蔵省から法改正が大変であるとの理由から反対された経緯があります。年度末の変更は大変そうですので学年末を8、9月に変更し9、10月の新学期という世界基準に合わせてはどうでしょうか？それでは乾杯をしたいと思います。メリーローター

<誕生記念日祝(3月)> 榎安 雅満 会員 工藤 大輔 会員
三谷 郁央 会員 吉田 隆佳 会員



<結婚記念日祝(2月)> 熊田 智通 会員

<結婚記念日祝(3月)> 和田 賢二 会員 赤江 一浩 会員

<配偶者様お誕生記念日祝(3月)> 及川ゆかり 会員 吉田 隆佳 会員

■出席報告 会員総数:88名(内 免除会員1名)

出席者数:52名(内 免除会員0名 内zoom参加者4名)

本日の出席率:59.8%

■3月のプログラム予定

3月13日(水)「創立記念夜間例会」 (理 事 会)

3月20日(水)「休 会」※春分の日

3月30日(土)「第6分区分会都市連合会(IM)」 (理 事 会)

※3/27(水)の繰下げ例会と致します。



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 花岡寿美代 副委員長 / 渡辺喜代美・荒井 純一

委員 / 石神 美代・櫻井 博一・千葉 直樹・三谷 郁央

●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>

